

第44号 (2017年度)

金沢国際親善ニュース



全州市代表团来沢 姉妹都市提携15周年記念合意書調印



金沢市代表团ポルト・アレグレ市派遣 ことじ灯籠設置記念式典

金沢市姉妹都市交流委員会

金沢一全州姉妹都市提携15周年記念事業

金沢市と全州市は2017年で姉妹都市提携15周年を迎えました。それを記念し、全州市から全州市長をはじめとする代表団をお迎えして、両市間で姉妹都市提携15周年記念合意書を取り交わしました。

全州市代表団来沢 (11月12日～11月14日)

金承洙全州市長、金明志全州市議会議長をはじめとする代表団が、11月12日(日)から14日(火)にかけて金沢市を訪れ、今後の姉妹都市交流の更なる発展に向け「姉妹都市交流及び協力に関する合意書」への調印式に参加しました。この式典には、全州市代表団12名のほか、全州市議会訪問団6名、山野之義市長、黒沢和規市議会議長、秋島太市議会副議長、金沢市議会議員、細田大造副市長、林承澈駐新潟大韓民国総領事館副総領事、稲村建男石川県日韓親善協会会長、紐野義昭石川県日韓親善協会副会長、金沂秀在日本大韓国民団石川県地方本部団長などが出席しました。また、滞在中には金沢21世紀美術館や兼六園、金沢市民芸術村、金沢職人大学校、金沢市立工業高校、金沢海みらい図書館などを視察しました。

- 〔全州市代表団〕12名
- | | |
|------------------|------------------|
| 金承洙 (全州市長) | 金明志 (全州市議会議長) |
| 文愛珍 (国際交流チーム長) | 崔準一 (報道支援チーム長) |
| 金柱亨 (全北日報社会部部長) | 孔炫喆 (セ全北新聞社会部次長) |
| 李胤佶 (市長随員・政務補佐官) | 梁在炷 (議事局主務官) |
| 崔訓 (国際交流主務官) | 孫芝映 (観光産業主務官・通訳) |
| 李相根 (報道企画主務官) | 朴徳烈 (報道企画主務官) |

【主な日程】

- 11/12 来沢、視察
- 11/13 視察、姉妹都市提携15周年記念合意書調印式
- 11/14 離沢



15周年記念合意書調印式



15周年記念合意書調印式後記念撮影

金沢一バッファロー姉妹都市提携55周年記念事業

2017年は金沢市とバッファロー市が姉妹都市提携55周年となることから、これを記念し、バッファロー市に金沢市代表団を派遣しました。

金沢市代表団バッファロー市派遣

8月21日から23日、バッファロー市との姉妹都市提携55周年記念事業の一環として、細田大造副市長を団長とする金沢市代表団及び高村佳伸市議、松井純一市議、森一敏市議の金沢市議会訪問団がバッファロー市を訪問しました。

滞り期間中は、道井孝子会長をはじめ、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の方々にご案内をいただきながら、ブラウン市長が力を入れて再開発を行ったエリー運河ハーバーをはじめ、パーチフィールド・ペニー・アートセンター、デラウェア公園、ことじ灯籠が設置されている日本庭園等を視察しました。

また、バッファロー・金沢姉妹都市委員会とともにバッファロー市庁舎を訪れ、バイロン・ブラウン市長を表敬訪問しました。会談でブラウン市長は、姉妹都市提携55周年の記

念すべき年の訪問に心からの歓迎の意を表するとともに、現在19の姉妹都市を持つバッファロー市にとっても最初に姉妹都市協定を結んだ金沢市は特別であるとの言葉を受けました。それを受けて細田大造副市長は、今後も若者の交流に力を入れていきたいと抱負を述べ、両者がこれからも末長く両市の交流を継続していくことを確認しました。

【主な日程】

- 8月21日 バッファロー市到着
歓迎昼食会
- 8月22日 市内視察
バッファロー市長表敬訪問



デラウェア公園のことじ灯籠の前で記念撮影をする
細田副市長及び金沢市議会代表団



ブラウン市長と会談する
細田副市長及び金沢市議会代表団



ブラウン市長と記念撮影をする
細田副市長及び金沢市議会代表団

金沢一ポルト・アレグレ姉妹都市提携50周年記念事業

2017年は金沢市とポルト・アレグレ市が姉妹都市提携50周年となることから、これを記念し、金沢市代表団派遣のほか、関係機関とも連携し、種々の記念事業を開催しました。

●ことじ灯籠を贈呈

ポルト・アレグレ市との姉妹都市提携50年を記念して、ポルト・アレグレ市にことじ灯籠を寄贈しました。このことじ灯籠は、金沢職人大学校校の石工科の研修生が、研修の一環として1年がかりで制作したもので、金沢職人大学校校石工科の講師、研修修了者、研修生からなる4名のことじ灯籠設置団が現地で設置しました。今回の設置により金沢市の7つの姉妹都市すべてにことじ灯籠が設置されました。



設置作業の様子

ことじ灯籠設置団メンバー：出口昭さん、出口秀樹さん、清水和彦さん、竹田源さん

●ことじ灯籠設置記念式典

設置場所の風車小屋公園において、8月18日、設置記念式典が開催され、金沢市代表団及び金沢市議会訪問団らが参加しました。

約100人の市民や関係者が集まり、谷口浩ポルト・アレグレ日本祭り実行委員会委員長、近藤猛在ポルト・アレグレ領事事務所長、細田大造金沢市副市長、グスタボ・ポーラ・パイクポルト・アレグレ市副市長の順に挨拶がありました。挨拶の中で細田副市長は、ことじ灯籠設置に尽力したポルト・アレグレ市と金沢市の関係者への感謝の言葉を述べた後、両市の未長い姉妹都市関係の発展と、設置されたことじ灯籠が両市の友好のシンボルとして未永く大切にされることを願うと述べました。その後、挨拶をした4名に加え、金沢市議会訪問団の高村佳伸市議、松井純一市議、森一敏市議、そして設置施工を行なった金沢市ことじ灯籠設置団の4名を加えて除幕を行いました。

設置場所の風車小屋公園は、ポルト・アレグレ市の中心にある市民の憩いの場であり、休日ともなると大勢の市民が散策をしています。この公園の中心にある池のほとりに設置されたことじ灯籠は背景の豊かな緑と静かな池の水面に映え、

遠くの金沢の地を想起させる落ち着いた風情を醸し出していました。

式典の後、代表団らはポルト・アレグレ市庁舎を訪問し、パイク副市長は今回の贈呈に感謝の意を表しました。



ポルト・アレグレ市副市長表敬訪問

●第6回「日本祭り」に参加

ポルト・アレグレ市の州警察学校を会場に、8月19日から二日間わたって開催された第6回日本祭りに参加しました。日本祭りは、日本文化の紹介、発信を行うイベントで、今回は二日間で8万人以上の来場者を集めました。

・開会式

開会式は8月19日に約1200人の市民が集まり行われました。本市からは細田大造副市長を団長とする金沢市代表団と

高村佳伸市議を団長とする金沢市議会訪問団が参加しました。

開会宣言の後、谷口浩実行委員長、木村元在クリチバ日本国総領事、グスタボ・ポーラ・パイクポルト・アレグレ市副市長らの挨拶がありました。そして鏡割りをを行い、パイク副市長と細田副市長が揃いの金沢の法被を着て餅つきをして日本祭りの開会を盛大に祝いました。



鏡割りを行う両市副市長



餅つきを行うポルト・アレグレ市副市長

・民謡舞踊の披露

ステージでは、民謡歌手の今枝外喜雄さん、民謡舞踊家の瀬尾明美さんによる、黒田節、さんさ時雨、宮城長持唄、津軽あいや節等が披露され、今枝さんの朗々とした歌声と瀬尾さんの優美な舞が会場を埋め尽くした市民を魅了しました。



歌声を披露する今枝さん、舞を披露する瀬尾さん



優美な舞を披露する瀬尾さん

・加賀友禅の実演

会場内では、加賀友禅作家の赤地暁さんが、下絵が描かれた生地に染色をしていく作業の実演を行いました。来場者は繊細な作業に魅了されるとともに、来場者の質問に丁寧に答える赤地さんの回答にしきりに感じしていました。協同組合加賀染振興協会の協力により製作された友禅染制作工程解説パネルと、赤地さんの手による加賀友禅の着物も展示されました。



加賀友禅の実演を行う赤地さん

【主な日程】

- 8月14日(月)～17日(木) ことじ灯籠設置作業
- 8月18日(金) 午前 ことじ灯籠設置記念式典
- 午後 ポルト・アレグレ市副市長表敬訪問 市内視察
- 8月19日(土)・20日(日) 第6回日本祭り

金沢—イルクーツク姉妹都市提携50周年記念事業

2017年は、金沢市とイルクーツク市が姉妹都市提携50周年となることから、これを記念し、金沢市代表団の派遣のほか、関係機関とも連携し種々の記念事業を開催しました。

金沢市代表団をイルクーツク市へ派遣

2017年6月2日（金）から同6日（火）の日程で、丸口邦雄副市長以下3名の代表団を派遣しました。一行は、イルクーツク市主催の提携50周年記念事業に参加するとともに、両市の提携50周年記念事業としても関連付けられた日本文化フェスティバル「祭」の開会式にも、イルクーツク市長・同議長らとともに出席し、丸口副市長が挨拶を行ったほか、交流関係者と面談し、両市の絆をより一層強固にするとともに、在ハバロフスク日本国総領事館を訪問し、山本広行総領事と、両市の交流に関する意見交換を行いました。

〔主な日程〕

- 6/2 金沢市発イルクーツク市へ（移動日）
- 6/3 日本文化フェスティバル「祭」・提携50周年記念友好交流パネル展（於：森茂喜記念広場）など
- 6/4 提携50周年記念絵画展開会式（於：ロガリ記念市歴史博物館付属展示館）など
- 6/5 イルクーツク市からハバロフスク市へ移動、在ハバロフスク日本国総領事館訪問
- 6/6 帰沢（移動日）



日本文化フェスティバル「祭」開会式



友好交流パネル展開会式で親書手交

日本文化フェスティバル「祭」に金沢ブースを出展

在ハバロフスク日本国総領事館が主催する日本紹介事業である日本文化フェスティバル「祭」が、本年は両市の提携50周年記念にも関連付けられ開催されたことから、同館と連携し金沢紹介ブースを出展しました。

- 開催日 6月3日（土）〔市開基記念日（6月第1土曜日）〕
- 会場 イルクーツク州音楽劇場（座席数878席）
- 概要 両国団体の芸能披露など（於：劇場内ステージ）
金沢紹介ブース、日本文化・観光紹介ブースなど（於：劇場内ロビー）
- ※金沢ブース運営は同館（本市から工芸品、菓子、日本酒、葉書体験キットなどを提供）



金沢紹介ブースの葉書体験コーナー

青少年相互交流事業経験者を在新潟ロシア連邦総領事館へ派遣

在新潟ロシア連邦総領事館の協力を得て、青少年交流でイルクーツクへ訪問経験のある金沢市の生徒・学生12名を同館へ派遣し、イワノフ・ドリトリ副領事の案内で、館内見学した後、意見交換などを行うとともに、ヤーセネフ・セルゲイ総領事とも懇談しました。

実施日 8月14日（月）午前：金沢発
午後：領事館訪問後、帰沢
概要 同館の見学、意見交換など



ヤーセネフ総領事（前列左）を囲んで

「国際交流若者シンポジウム」を開催

金沢市からイルクーツク市へ派遣された若者に、同市の食・生活・まちなみ・社会・文化について学んだ成果を発表してもらうため、初めて開催しました。司会は2015年に派遣された高校生（派遣時中学生）、ファシリテーターは金沢市在住でロシア出身のプシマキン・バジム氏が務めました。発表は2015年に派遣された大学生が若者の国際交流に関する基調報告をした後、本年度に同市を訪問した中学生13名が、各テーマに沿って発表するとともに、来場された方々との質疑応答を行いました。

- 開催日 8月27日（日）
- 会場 金沢市文化ホール 2階「大集会室」
- 概要 13:00～13:10 開会（山野之義金沢市長の挨拶）
13:10～15:00 発表（大学生1名、本年度派遣中学生13名）
質疑応答
15:00～16:00 茶話会（交流会）



開会挨拶する金沢市長



シンポジウムでの質疑応答

デンマーク皇太子御夫妻が金沢を訪問

2017年、日本とデンマークの外交関係樹立150周年を迎えました。両国は、世界でも歴史の長い皇室・王室を有する国ということもあり、長きにわたり友好関係を育んできました。この節目の年に、フレデリック・デンマーク王国皇太子御夫妻が来日し、10月9日、金沢を訪問されました。

御夫妻は、金沢21世紀美術館で開催された外交関係樹立150周年の記念展覧会「日々の生活-気づきのしるし」を観覧されました。フレデリック皇太子は、「今回の展示会は日本とデンマークの協力の1つの例だと思いますし、デザインやアートの分野での両国の熱意

を表していると思います。緊密な協力関係がどういうことを実現できるかという素晴らしい実例だと思います。」と述べられたほか、デンマークに留学しデザインの勉強をする学生を激励されました。

【主な日程】

10月9日（月・祝）

12:30 兼六園視察

13:30 金沢21世紀美術館鑑賞



スピーチする皇太子



細田副市長と懇談する皇太子

駐日外交団の「地方視察ツアー」を受入

1月18日に、駐日外交団が「地方視察ツアー」のため来沢しました。「地方視察ツアー」は、駐日外交団に地方の文化、観光、産品、産業等の魅力を紹介するため、外務省と地方自治体等の共催により実施しているものです。北陸地方で開催されるのは初めてで、14か国・計21名の大使、参事官、書記官などが来沢しました。

ツアーでは、金沢市立安江金箔工芸館、金銀箔工芸さくだ、国指定重要文化財 志摩、金沢21世紀美術館、兼六園、毎田染画工芸を訪問し、金沢の文化・産

業等の魅力を直接見聞きしてもらうことで、世界に向けて金沢の魅力を発信しました。

【参加駐日外交団】

エルサルバドル、アルメニア、ジャマイカ、アルゼンチン、コロンビア、コソボ、オーストリア、インドネシア、ウルグアイ、イタリア、タイ、カタール、ドイツ、モザンビークの大使、参事官、書記官など



21世紀美術館の見学



加賀友禅の着物の着付体験

国際交流特使養成塾を開催

留学生等を対象に、金沢の文化等を講義や体験を通じて学ぶ「国際交流特使養成塾」を通年で開催しています。2017年度は計7回開催しました。

1. 金沢市国際交流特使の概要

「金沢市国際交流特使」は、帰国後もSNSや現地でのイベント等で、海外への金沢の魅力発信を担ってもらうことを目的とした制度です。「国際交流特使養成塾」を修了した留学生は、特使として金沢市長より任命されます。

特使養成塾受講留学生の国籍別内訳 (平成30年3月1日現在)

	計
中国（台湾含む）	51人
ベトナム	12人
タイ	9人
カンボジア	3人
その他	20人
計	95人

2. 講座内容

- 第1回講座 平成29年5月20日（土）
 テーマ：ひがし茶屋街で金沢の伝統を学ぶ
 内容：お茶屋の見学、三味線の体験
- 第2回講座 平成29年6月28日（水）
 テーマ：金澤町家で七夕かざりづくり
 内容：七夕のいわれについての講義、七夕かざりづくり・飾り付け
- 第3回講座 平成29年8月26日（土）
 テーマ：金沢の夜間景観を知ろう
 内容：金沢市の景観政策についての講義、ライトアップバスツアー
- 第4回講座 平成29年10月14日（土）
 テーマ：金沢の伝統工芸、加賀友禅を体験してみよう
 内容：伝統工芸及び加賀友禅についての講義、型絵染
- 第5回講座 平成29年11月12日（日）
 テーマ：湯涌江戸村&茅葺きツアー
 内容：茅刈り、湯涌江戸村見学
- 第6回講座 平成30年1月28日（日）
 テーマ：湯涌温泉の伝統行事 氷室の仕込みを体験してみよう
 内容：氷室の雪詰め体験
- 第7回講座 平成30年2月26日（月）
 テーマ：金沢冬グルメツアー
 内容：押し寿司づくり、酒蔵見学



第1回養成塾 三味線体験の様子



第4回養成塾 加賀友禅体験の様子



第5回養成塾 湯涌江戸村見学の様子

【その他特使イベント】

市民防災訓練に特使養成塾受講生が参加

2017年6月25日に第21回新神田校下市民防災訓練が、新神田小学校ピロティ及び体育館等を会場として行われました。

今回は、特使養成塾受講生4名（中国2名、ベトナム2名）が訓練に参加しました。各種訓練に参加したほか、救護コーナーで病院関係者とのロールプレイング、「多言語対応金沢救急アプリ」を使用しての救急隊員とのロールプレイングなどを行いました。

また、日本は地震が多いため、参加者は地震時の防災に対して興味を持ち、地震体験車で大地震を体験し、防災に対する心構えを新たにしました。



地震体験車で大地震を体験する様子

国際交流特使による金沢PR活動

(1) 在外公館に金沢市ブースを出展

	〈フランス〉 在フランス日本 国大使館	〈フランス〉 在ストラスブール 日本国総領事館	〈ベルギー〉 在ベルギー日本 国大使館	〈ブラジル〉 在ポルト・アレ グレ領事事務所
開催日	11月6日(月)	12月6日(水)	12月7日(木)	12月7日(木)
場所	駐フランス日本 国大使公邸	駐ストラスブール 日本国総領事公邸	駐ベルギー日本 国大使公邸	ポルト・アレグレ 市内の民間施設
出席者数	約600名	約180名	約140名	約160名
派遣者	エミリアン・ ボネ (元留学生) ロイック・メス (元インターン生)	ロイック・メス (元インターン生)	ヨナタン・ フリードマン (元留学生) ビヤルト・ イエカテリーナ (元留学生)	ジルベルト・ サントス (元国際交流員) ヴィニシウス・ ベルトルド (元研修旅行生)
内容	展示:ポスター、パンフレット、工芸品等 味覚:地酒、和菓子 体験:金箔体験			展示:ポスター、 パンフレット、 工芸品等 体験:金箔体験

○在フランス日本国大使館



○在ストラスブール日本国総領事館



○在ベルギー日本国大使館



○在ポルト・アレグレ領事事務所



(2) 中国の大学の授業で金沢をPR!

2017年5月27日、国際交流特使 陳 曦さんが、西安外国語大学の大学院生向けの授業で、学生48人を対象に金沢についてのプレゼンを行い、兼六園や百万石まつりを紹介しました。



(3) ロシアの大学等で金沢をPR!

国際交流特使ガラエヴァ・ディナラさんが、たくさんの方のPRを行ってくれました。

①6月6日、カザン市の日本語センターで、学生12名に金沢の紹介や金箔体験を行いました。

②7月1日 カザン連邦大学の日本語クラスで、金沢の紹介や金箔体験を行いました。



③11月7日、カザン市の日本語センターで、カザン連邦大学に留学している日本人学生と一緒に「金沢へようこそ!」という授業を行いました。



(4) ベルギーの国際交流特使が金沢をPR!

2017年10月、ゲント大学創立200周年祭における「子供大学プロジェクト」にて、特使であるマリス・ホルヴェートさんが金沢コーナーを設置し、百万石音頭を来場者と踊るなどして金沢の魅力を来場者にPRしました。



ゲント大学での集合写真

日本の祭りを再現し、百万石音頭を踊る様子

(5) ベルギーの国際交流特使が金沢へ団体旅行誘致!

特使であるネーラ・デュプリさんが、2017年10月13日～14日の日程でベルギーから団体観光客を誘致しました。金沢の食文化を紹介するなどして、海外からの観光客に金沢をPRしました。



姉妹都市からの短期研修生を受入

本市では、一昨年度より、日本語及び金沢の文化に興味のある海外の若者を対象に、各種講座・体験・市内視察のほか、ボランティアとの交流やホームステイなど、市民との交流の場も取り入れた約2週間の「国際交流特使養成・短期研修事業」を行っており、3回目の今回は2018年1月29日から2月9日の期間に行いました。研修生はポルト・アレグレ市及び蘇州市の特使の紹介で、ポルト・アレグレ市（ブラジル）より1名、蘇州市（中国）より2名の計3名の研修生を受け入れました。

プログラムでは、金沢の歴史や文化、建築や工芸等に関する講座や各種文化体験、文化施設や史跡、まち

なみ等の実地見学などを通して、金沢をまるごと体験し、「金沢」を学びました。また、今回は新たに温泉文化を体験するために、湯涌温泉で温泉体験を行いました。湯涌温泉では160cmもの積雪があり、雪深い金沢の奥座敷の風情を楽しみました。

3人の研修生は、研修修了日に金沢で学んだことの結果を発表し、金沢市長より「金沢市国際交流特使」に任命され、帰国後、SNSや現地のイベント等で、今回体験した金沢の魅力を広く発信していただくこととなります。3人の研修生は、滞在中からリアルタイムで、自身の金沢での体験をSNSで発信しました。



大雪の湯涌温泉で温泉体験前に記念撮影



金沢星稜大学の学生との交流



金沢海みらい図書館で姉妹都市より寄贈された書籍を閲覧



琴の演奏体験



和食作り体験



研修成果の発表

石川中央都市圏・国際交流連絡会を開催！～4市2町が国際交流連携の取り組みを実施～

金沢市は、石川中央都市圏（金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町）における連携中枢都市圏を形成し、4市2町の連携によって「石川中央都市圏ビジョン」を推進しています。人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化させて経済を持続可能なものとし、安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことが目的です。

この枠組みにおいて、2016年度より4市2町の国際交流所管課が、情報交換や課題の共有等を行うことで連携を強化し、地域の国際交流の推進を図ることなどを目的とする国際交流連絡会を開催しています。

今年度は5月、8月、10月、2月に連携を推進するための会合を実施したほか、10月21日・22日開催の「金沢国際交流まつり2017」にあわせ、金沢21世紀美術館広場において国際交流ブースを出展し、4市2町の国

際交流活動を紹介するパネル展示や、4市2町の国際交流員による自国の紹介など、国際交流の推進を図りました。



連絡会の様子（於：金沢市）



国際交流ブースの出展

金沢マラソン2017に姉妹都市・友好交流都市から6代表団が参加！

「金沢をまるごと『走る!』」をキャッチフレーズに、金沢の魅力が満喫できる7つのゾーンを走るフルマラソンの大会「金沢マラソン2017」に参加するため、10月27日から31日の期間、本市の5姉妹都市・1友好交流都市からの代表団23名（うちランナー18名）が、来沢し大会に華を添えました。

10月29日のマラソン当日、姉妹都市・友好交流都市からの出走者は、13,000人（うち国外約1,000人）を超えるランナーとともに、山野之義・金沢市長の号砲を合図に8:50に一斉にスタート。あいにくの雨模様の天候にもかかわらず、途切れることのない沿道の熱い声援に力も得て、全員が楽しく走りました。

【訪問団】

都市名	団長	所属等	人数 (ランナー)
イルクーツク	バリシニコフ ビタリー	イルクーツク市文化局長	3名 (2名)
гент	スハーレン パウルヘンリー	市民ランナー代表	1名 (1名)
ナンシー	ジェディー アメド	RCV (Running Club Vandoeuvre)	7名 (5名)
蘇州	周 フンショウ 文晶	蘇州市体育競技管理 センター 副主任	5名 (4名)
全州	崔 ヤンヨル 陽烈	全州市陸上連盟	3名 (3名)
大連	張 カイ 嘉偉	大連米斯顿貿易会社	4名 (3名)
合計：6都市			23名 (18名)

金沢マラソンの参加を契機とする本市の姉妹都市・友好交流都市間の新たな交流が芽生えてきており、2018年10月28日（日）に決定している金沢マラソン2018にも、多くの姉妹都市等からのランナーの皆さんが参加することが期待されています。

なお、本年度の各市からの訪問団の概要と、主な滞在日程は、以下のとおりです。



表敬訪問後の記念撮影



送別会後の記念撮影

【主な滞在日程】

日付	内容
10/27（金）	表敬訪問／歓迎会
10/28（土）	コース下見／市内視察 (兼六園・ひがし茶屋街等) 金沢マラソン前夜祭
10/29（日）	金沢マラソン2017参加 送別会
10/30（月）～	各市代表団離沢

フランス水泳連盟との事前合宿の実施に関する協定締結と受入実施！

2017年6月1日、フランス水泳連盟のジル・セジオナル会長が、金沢市役所を訪れ、山野市長と2020年東京オリンピックでの水泳フランス代表チームの事前合宿を金沢で行うことを定めた協定を締結しました。

協定書には、東京オリンピック開催までの間に若手選手の合宿を金沢で行うことや、人的・経済的・スポーツ的・文化的な相互交流を実施すること、オリンピック事前合宿終了後も継続して交流に努めることな

どが盛り込まれています。

これを受け、10月23日から11月1日の期間で、同連盟オープンウォーター競技の若手選手が合宿を行いました。滞在中は、金沢プールを拠点にトレーニングを行ったほか、小・中学生を対象とした水泳教室や水泳競技指導者を対象とした講習会の開催、金沢市立工業高校の視察、金沢の文化体験を行いました。



協定締結後の記念撮影



金沢プールでの練習風景



オープンウォーター競技の選手の
表敬訪問後の記念撮影

キッズまちなか姉妹都市探訪事業を実施！

市内の小学6年生を対象に、姉妹都市への理解を深め、外国人と交流することで国際的な感覚を持つ人材の育成を目的に「キッズまちなか姉妹都市探訪事業」を行いました。本事業では、国際交流員が、姉妹都市の雰囲気を出す「姉妹都市公園」内の各姉妹都市コーナーで、図などを用いながら、各都市について紹介しました。

〔実績〕9/6 三和小学校



ロールプレイによる英会話研修の様子



交流員の紹介



ゲント市の文化紹介

グローバル人材育成ふれあい講座を実施！

市立保育所の子どもたちが、外国人や外国の文化とふれあう機会を通じて、外国を身近な存在に感じることで、グローバル人材に必要な国際感覚を養うことを目的に、本市の国際交流員が講師役を務める講座を行いました。講座では、地球儀や国旗など、子どもたちにとって目新しい様々な教材を用いながら、外国語でのあいさつ、外国の遊戯・料理、簡単な国紹介などを行いました。

〔実績〕6/20 森山保育所

多言語電話通訳サービスの拡大

本市では、2015年5月より、外国人住民と市職員との窓口でのコミュニケーション支援として、多言語電話通訳サービスを導入しています。2017年からは、従来の英語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・韓国語・タイ語に加え、ベトナム語の通訳サービスも可能となりました。また、通訳サービス導入窓口も、2017年から、従来の26窓口から30窓口に増やし、外国人対応サービスの向上に努めています。

【導入窓口】市役所内窓口（11）、市民センター（14）、福祉健康センター（3）、市立病院窓口（1）、保育所（1）

国際交流員による語学研修

外国人観光客が増加するなか、安全・安心なまちづくりを推進する一環として、消防局職員や石川県警察の外国語能力の向上を図ることを目的として、外国語研修を開催しました。

消防実務中国語会話研修 丁曉婷交流員（中国）

9/19、20 第1回

12/6、7 第2回

1/24、25 第3回

3/19、20 第4回

119番通報対応訓練 スピアーズ交流員（アメリカ）

12/18、19

石川県警「外国人対応研修会」スピアーズ交流員（アメリカ）

10/30、31

海外向け情報発信チーム「虹の会」

国際交流員5名などで構成する海外向け情報発信チーム「虹の会」は、昨年3月に結成して以来、年間をとおして金沢市観光協会が運営する多言語Facebookページに、自らの体験をとおした金沢の魅力や英語、スペイン語、フランス語、中国語、韓国語で発信し、金沢の知名度向上や誘客推進に努めました。

【体験・発信内容】

- 5/20 三味線弾き体験（国際交流特使養成塾第1回講座）
- 6/26 安原スイカ集出荷場、圃場
- 7/12 中央卸売り市場2番せり
- 8/7 メロン収穫体験
- 8/26 夜間景観、ライトアップバスツアー（第3回講座）
- 9/12 金沢くらしの博物館
- 9/24 金沢職人大学校 職人の技1日体験
- 11/12 湯涌江戸村 茅葺きツアー（第5回講座）
- 12/14 消防業務体験
- 1/10 銭湯視察
- 1/11 地域の雪かきへの協力
- 3/14 加賀れんこん収穫体験



消防業務体験



職人大学校



銭湯視察

バッファロー 【アメリカ合衆国】



JAZZ-21がバッファロー市長を表敬訪問

提携 1962年（昭和37年） **人口** 26万人
面積 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。市内には、オルブライト・ノックス美術館、州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西 25km の所にある。

バッファロー・金沢姉妹都市委員会会長が来沢

2017年4月17日から19日まで、バッファロー・金沢姉妹都市委員会長の道井孝子会長とクリス・モリソンさんが来沢しました。滞在中は、両市の交流に縁のある団体や個人との友好を深めるとともに、今後の交流に関する有意義な意見交換などを行いました。モリソンさんはバッファロー市出身、現在神奈川県在住。今後バッファロー市と金沢市の交流の架け橋として活躍してもらえることを期待しています。

【主な日程】

4/17 来沢

4/18 金沢美術工芸大学訪問、金沢能楽美術館訪問、
 市長・副市長表敬訪問、金沢21世紀美術館訪問、
 大樋美術館訪問、金沢市民芸術村訪問

4/19 金沢蓄音器館訪問、離沢



市長表敬訪問



金沢能楽美術館で体験

JAZZ-21 3度目のバッファロー訪問

2017年5月2日から7日までの間、金沢市民芸術村を拠点に活動するジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21の23名（団員19名、引率4名）が、前回の2012年以来、3度目となるバッファロー市を訪問しました。JAZZ-21は、姉妹都市バッファロー市近郊で、同じエリー郡内にあるハンブルグ高校ジャズバンドと2005年以来相互交流を続けながら、音楽をとおして市民との交流の輪を広げてきました。

滞在中は、ホームステイをしながら、ハンブルグ高校で

の授業を受け、生徒と交流を図ったほか、アメリカやバッファローの文化に触れることもでき、とても貴重な体験になったようです。

ハンブルグ高校のコンサートホールで行われた交流コンサートでは、過去にJAZZ-21と交流したことがあるハンブルグ高校ジャズバンドのOBやOGの参加もあり、これまでにない大きなコンサートになりました。

また、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長の計らいで、バッファロー市在住の日本人の方々が主催するさくらフェスティバルにも出演させていただきました。多くの観客の前で演奏することができ、大いに盛り上がりしました。

【主な日程】

5/2 バッファロー市到着、歓迎レセプション、
 ホームステイ

5/3 ハンブルグ高校の授業に参加、
 コンサートリハーサル、ホームステイ

5/4 バッファロー市長表敬訪問、
 ハンブルグ高校との交流コンサート

5/5 市内視察、ホームステイ

5/6 さくらフェスティバル出演、日本庭園訪問、送別会

5/7 帰国



ハンブルグ高校との交流コンサート



さくらフェスティバル出演

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



提携50周年記念事業に参加した一同

提携 1967年（昭和42年） **人口** 141万人

面積 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウーショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

提携50周年記念事業を開催！

2017年は提携50周年であり種々の記念事業が行われました。（2頁）

- ・金沢市代表団派遣
- ・ことじ灯籠設置及び設置記念式典への出席
- ・第6回日本祭りにおいて加賀友禅実演、民謡舞踊の披露



事前準備のため5月に来沢した金沢友の会・和田夫妻と細田副市長の懇談



ポルト・アレグレ市庁舎前

在クリチバ日本国総領事館 総領事の来沢

ポルト・アレグレ市を管轄する、在クリチバ日本国総領事館 木村 元総領事が11月6日に本市を訪問し、姉妹都市提携50周年を迎えたポルト・アレグレ市との交流事業について山野市長および細田副市長と懇談しました。懇談で木村総領事は、8月に金沢市から贈られたことじ灯籠が多くの子市民の関心を集めていると報告しました。



総領事の表敬

「金沢友の会」が日本祭りで金沢ブースを出展

例年、ポルト・アレグレ市内で開催される日本祭りの会場内で、金沢ゆかりの市民らでつくる「金沢友の会」の協力を得て、金沢の工芸品等を展示紹介しています。2017年8月19・20日に開催された第6回日本祭りでは、さらに新たな金沢の工芸品を追加し充実した展示を行うことにより金沢の工芸品の魅力と奥深さを紹介しました。多くの来場者は金沢の工芸品の繊細さに見入っていたほか、金箔貼り体験が人気を博しました。



金沢ブースを出展してくれた皆さん

金沢市出身高校生がリオ・グランデ・ド・スル州から帰国

リオ・グランデ・ド・スル州に1年間留学していた北村佳のん（金沢市出身高校生）さんが、7月に帰国し、金沢市役所を訪問しました。留学中は、金沢友の会やポルト・アレグレ市役所の国際関係課を訪ね、帰国後もブラジルの友人たちと交流を続けていきます。今後のさらなるご活躍を期待しています！



北村佳のんさん

イルクーツク 【ロシア連邦】



表敬訪問後の記念撮影（イルクーツク中学生親善団）

提携 1967年（昭和42年） **人口** 62万人

面積 277km²

バイカル湖(世界遺産)の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

金沢市中学生親善団イルクーツク市派遣

2017年7月25日（火）から8月1日（火）の日程で、辻秀一生活支援課長を団長とする中学生親善団20名（うち中学生15名）を派遣しました。本年は、小松から空路の乗継ぎでイルクーツクに入りました。滞在中、世界遺産バイカル湖、第3リツェイ（学校）、市内や子供鉄道などを見学するとともに、自然健康キャンプ“エコログ”では、同所に滞在する青少年とパフォーマンスの交換や直接ふれあう交流などを行いました。ホームステイ・プログラムでは、対面式で地元アンサンプルの歌やロシア式ゲームのほか、親善団からも準備してきたパフォーマンスの披露を通じて、交流を深めた後、各ホスト家庭に向いました。一泊二日でしたが、戻ってきたときには、ホスト家庭の一員のようになっていました。表敬訪問では、タチヤナ・エデリマン副市長をはじめ、関係者出席の中、イルクーツク市との交流に関する意見などを積極的に発言し、親善大使の役割を果たすとともに、両市の友好をより一層固めることに大きな貢献しました。皆、交流を通じて新しい友人を作ったほか、姉妹都市に関する理解を深め、たくさん思い出を持って金沢市へ戻りました。

〔主な日程〕

- 7/25 小松・羽田・成田・ウラジオストク空港経由イルクーツク
- 7/26 バイカル湖 7/27 学校訪問、子供鉄道・市内見学
- 7/28 エコログ訪問 7/29-30 ホームステイ・プログラム
- 7/31 表敬訪問
- 8/1 イルクーツク・ハバロフスク・成田空港経由帰沢

イルクーツク市文化局長姉妹都市公園を視察

10月27日（金）から同31日（火）の日程で来沢した金沢マラソン参加イルクーツク市スポーツ団（3名）団長・ビタリー・バリシニコフ文化局長は、同30日（月）に、姉妹都市公園を視察しました。同日は、緑と花の課の職員も対応し、視察しながら意見交換を行いました。

提携50周年記念事業を開催!

2017年は提携50周年であり種々の記念事業が行われました。（3頁）

- 6月2日～6日 金沢市代表团（3名）派遣
- 6月3日 日本文化フェスティバル「祭」出演
- 8月14日 新潟ロシア総領事館への若者派遣
- 8月27日 国際交流若者シンポジウム開催

Topics 「第26回日ロ沿岸市長会」に都市政策局長を派遣～イルクーツク市長と友好を確認～

2017年8月22日から24日にかけて、日本とロシアの35市（日本側17市、ロシア側18市／日本側事務局新潟市）で構成され、両地域の友好促進、文化・経済関係の強化などを目的として、新潟市で開催された「第26回日ロ沿岸市長会議」に、平嶋正実都市政策局長を派遣しました。局長は、この会議の第2議題「両地域諸都市における双方向の観光交流促進に向けた方策」で発言する日ロの12市の代表の一人として、「交流拠点都市をめざす金沢の観光戦略について」と題する講演を行い、本市の取り組みや金沢の魅力を紹介しました。会議にはイルクーツク市からドミトリ・ベルドニコフ市長が参加しており、両市は会議期間中の23日に宿舎内で懇談を行い、両市の友好と今後の関係発展を確認しました。

「石川県ロシア協会」交流写真展開催

2017年10月17日～同25日にわたり、石川県ロシア協会金沢支部（金沢市ロシア協会）は、金沢国際交流財団において、同協会が毎年設定している日ロ友好親善月間「フェスタ・バイカル」の枠組みにおいて交流写真展を開催し、姉妹都市イルクーツクの現在の様子や交流事業とともに、会員が訪問したウラジオストクについても紹介しました。

「交流サポーター」活動

金沢市の青少年交流事業で、21世紀を迎えた後、イルクーツク市へ派遣された中学生親善団員OBの有志で構成され、メンバー相互の切磋琢磨のための親睦活動や国際交流事業のボランティアを行っている「交流サポーター」の本年度の主な活動は次のとおりです。

- 6月：本年度イ市派遣される中学生への講話（1名）
- 8月：新潟総領事館訪問（12名）
- 8月：国際交流若者シンポジウム（15名）
- 3月：同窓会活動（23名）

その他、各種国際交流事業への参加・協力など積極的に活動を行っています。

アントワープ



山野市長に出迎えるテルモント市長

提携 1971年(昭和46年) **人口** 25万人
面積 158km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「アントワープ・フローラリア」は世界的にも有名。アントワープ港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖バーブ大聖堂や1817年創立のアントワープ大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

アントワープ市長が来沢

2017年6月8日から11日まで、アントワープ市のダニエル・テルモント市長を団長とする代表団4名が来沢し、山野市長をはじめ、両副市長と今後の交流などについて懇談しました。

滞在中一行は、城北運動公園で行われた少年サッカー大会などの視察をした後、細田副市長と懇談し、サッカーを通じたスポーツ交流の可能性について検討していくことを確認しました。

また、金沢大学を訪問し、代表団の一員で、金沢大学の姉妹校であるアントワープ大学日本語学科のアンドレアス・ニーハウス教授を中心に、大学間交流についての活発な意見交換が行われました。

その他、代表団は金沢21世紀美術館や卯辰山工芸工房を訪問し、代表団の一員でアントワープ・デザインミュージアム館長であるカトリーヌ・ラポルテ氏を中心に、芸術分野での交流の可能性について検討するための視察を行いました。



細田副市長と少年サッカー大会を視察するテルモント市長

ベルギービールウィークエンド金沢2017で世界遺産ベルギービールをPR!

2016年に金沢で初めて開催されて好評を博した「ベルギービールウィークエンド金沢2017」が、6月8日から11日まで、「いしかわ四高記念公園」において開催されました。今年もたくさんの方が、食の世界遺産ベルギービールや音楽などのベルギー文化を楽しみました。なお、オープニングイベントではアントワープ市のテルモント市長と山野市長が挨拶をし、両市長は毎日のように会場を訪れてイベントを盛り上げました。

また、これに併せて本市では、会場においてアントワープ市やベルギーとの交流について紹介するブースを出展しました。テルモント市長を団長とするアントワープ市代表団が金沢ブースを見学し、アントワープ市と金沢市の絆の深さを再確認しました。



ベルギービールウィークエンドに出展した「金沢ブース」

駐ベルギー日本国大使が来沢!

2018年3月5日、林駐ベルギー日本国特命全権大使が来沢しました。林大使は、アントワープ市との交流事業について、山野

市長と意見交換を行いました。また、アントワープ大学と交流協定を締結している金沢大学を訪問し、山崎学長を表敬訪問したほか、アントワープ大学からの留学生と懇談しました。

KAAヘント コーチ陣が来沢!

アントワープ市に本拠を構えるサッカー・ジュビラーリーグ(ベルギー1部リーグ)の名門であり、久保裕也選手の所属するKAAヘントより、マヌエル・フェレーラ・アカデミー統括コーチ以下3人が、12月14日から17日の日程で来沢しました。15日の市長表敬訪問では、団長のマヌエル・フェレーラ氏からアントワープ市のダニエル・テルモント市長の親書が手渡されました。

滞在中、コーチ陣は少年たちにサッカーの指導などを行いました。

Topics

元国際交流員マリス・ホルグート氏が日本庭園維持管理について学ぶために来沢

4月14日、元国際交流員で現アントワープ大学職員マリス・ホルグート氏が日本庭園維持管理について学ぶために来沢しました。2016年、アントワープ・フローラリアに出展された庭園「濠洲の庭」が、アントワープ大学に移設されました。その庭園の維持管理について、当時、庭園設置団でアントワープを訪れた職人から、庭園維持について手ほどきをうけました。

アントワープ市役所でインターン

金沢大学からアントワープ大学に留学している石岡道子さんが、12月18日からアントワープ市役所でインターンを開始しました。現地の学生と同じインターン試験を受け、インターン生として採用されました。

在ベルギー日本国大使館でのイベントに姉妹都市アントワープ市が参加

1月25日に、駐ベルギー日本国大使館において、林大使主催による「第5回姉妹都市連携強化レセプション」に、姉妹都市アントワープ市を代表して国際交流担当のイング・ウィレムセン氏が参加しました。日本とベルギーの間には、8つの姉妹都市と2つの友好都市、3つの友好港があります。レセプションではこれらの姉妹都市、友好港やその他の日本との絆を有する自治体等の関係者が出席し、活発な意見交換やネットワークの強化などが行われました。

ナンシー 【フランス共和国】



ナンシー交換留学生在が市長へ出発・帰国挨拶

提携 1973年（昭和48年） **人口** 10万人
面積 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。総合大学等があり、人口に占める学生の割合が高い学園都市であると同時に、国際的な音楽祭や国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

金沢市代表団 ナンシー市訪問

2018年には、姉妹都市提携45周年を迎え、毎年11月下旬から12月末まで開催されるフランスを代表する「聖ニコラ祭」にナンシー市から招待されています。それに先立ち2017年11月22日から25日まで、小谷消防局長を団長とする金沢市代表団がナンシー市を訪問しました。

現地では、「聖ニコラ祭」を視察したほか、関係者から、金沢のPRを行う時期や場所など具体的な案を聞くことができ、金沢市に対して、2018年の「聖ニコラ祭」を大いに盛り上げてほしいという真剣な思いをお聞きすることができました。

今後、関係団体と連携しながら、効果的で意義のある事業となるよう、しっかりと準備をしたいとの思いを新たにしました。



ナンシー市担当者との打合せの様子

交換留学生の受入・派遣

金沢市から昨年派遣された高井六花さん（金沢美術工芸大学）が、1年間の留学生生活を終えて帰国しました。また、27人目の留学生として、清水冴さん（金沢美術工芸大学）が派遣され、2017年10月よりナンシー国立高等美術学校にて学んでいます。

さらに、ナンシー市からの27人目の留学生、アドリアン・ブRezさん（ナンシー国立高等美術学校）が金沢美術工芸大学での留学生生活を始めました。

インターン生の受入・派遣

ナンシー市でのインターンのため、大谷翠さんと渡邊佑さん（ともに金沢大学）が金沢市から派遣されました。インターンは7月31日から8月25日の期間で行われ、2名はナンシー市の舞台美術装置制作課や水族館などの仕事を担当しました。

また、金沢市では、ナンシー市からのインターン生であるヴィルジニー・シュルツさん（ICNビジネススクール）とアメリ・ティスランさん（ナンシー建築学校）を同日程で受け入れ、2名は金沢卯辰山工芸工房や玉川こども図書館、金沢美術工芸大学などで就業体験を行いました。



金沢美術工芸大学でのインターンで美大生と作品を制作

Topics

JAPAN EXPO 2017 出展

2017年7月6日から7月9日まで、フランス・パリ近郊のノール・ヴィルパント展示会場で開催されたJAPAN EXPO 2017に金沢市から出展し、フランスをはじめヨーロッパ各地からの来場者に対して金沢の魅力を発信しました。

金沢市立病院とナンシー大学病院との研修医等の相互派遣

医師の育成と研究を通して、医療分野における両院の科学・技術交流を促進し、姉妹都市交流を一層深めるため、7月3日から31日の日程で、金沢市立病院が地域圏立ナンシー大学病院から研修医2名を受け入れ、続く7月3日から30日の日程で、金沢市立病院から地域圏立ナンシー大学病院へ医師1名を派遣しました。



蘇州【中華人民共和國】



中学生親善団の送別会で関係者との記念写真

提携 1981年(昭和56年) **人口** 661万人

面積 8,488km²

約2,500年前の「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。シルク刺繍などの特産品や食の地としても有名であるが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出しめざましい経済発展を遂げ、その経済力は中国国内トップ10にランクインしている。2014年12月、本市と同じクラフト分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟。

中学生親善団の皆さん ようこそ 金沢へ!

2017年7月6日から10日まで、夏遠飛・蘇州市田家炳実践初級中学校德育処主任を団長とする中学生親善団14名(引率2名、生徒12名)が来沢しました。一行は、6日に、ひがし茶屋街で金箔貼体験を行いました。7日には、金沢市長を表敬訪問し、金沢21世紀美術館を視察し、その後、市立兼六中学校を訪問し、授業見学や給食体験を行い、同校生徒による吹奏楽演奏を中心とした歓迎式典に参加しました。8日から9日に行った1泊2日のホームステイでは、昨年度に金沢市中学生親善団として蘇州市を訪問した生徒の家庭が中心となり、ホスト家庭の一員として迎え入れ、金沢での生活を体験しました。また、ホスト家庭を交えた送別交流会では、親善団の生徒たちは、昨年度に金沢市中学生親善団として蘇州市を訪問した生徒とともに、蘇州市のある江蘇省の中国民謡

である「ジャスミンの花」を合唱し、親睦を深め、たくさんのおもいでともに、蘇州市へ帰っていき



金沢市立兼六中学校の全校生徒集会で歓迎を受ける親善団

蘇州太湖国際マラソン大会参加で 金沢市選手団がW入賞!

2017年12月16日に開催された「蘇州太湖国際マラソン大会」に、大岩為一・石川陸上競技協会副会長を団長とする金沢市選手団4名が、12月14日から17日の日程で初めて参加しました。

20の国と地域から約3万人が参加する中、男子フルマラソンに出場した開上知弘選手(金沢マラソン2017・男子7位)は、2時間35分16秒(男子4位)でゴールし、女子フルマラソンに出場した山下加奈子選手(金沢マラソン2017・

女子19位)は、3時間19分6秒(女子8位)でゴールし、ダブル入賞を果たしました。

また、大岩団長が現地メディアのインタビューを受け、蘇州太湖国際マラソンの印象を述べた他、金沢マラソンについてPRしました。



スタート前に意気込みを見せる、開上・山下両選手

伝統工芸代表団が「東アジア 見る・知る・感じる!」に参加

2018年3月24日の金沢市庁舎前広場で行われた、東アジア文化都市2018金沢オープニングイベント「東アジア 見る・知る・感じる!」に、徐華東・蘇州市人民政府外事弁公室主任を団長とする「蘇州市伝統工芸代表団」が3月23日から25日の日程で来沢しました。伝統工芸代表団は、3月24日に金沢市長を表敬訪問し、イベント開幕式に参加した後、金沢21世紀美術館など市内施設を視察しました。

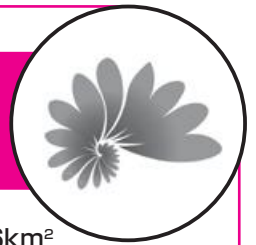
また、工芸体験ブースでは、「明式家具(蘇州家具)」、「鑑賞石(石細工)」、「綴織り(織物)」の伝統工芸職人3人が参加し、実演展示を行いました。

Topics

山野市長が「蘇州の友名賞」を受賞

蘇州市の経済・社会の発展に貢献し、今後も更に蘇州市の経済・社会の発展に積極的に参与することを期待する人物を表彰する賞である「蘇州の友名賞」に、山野市長が選出されました。

全州 (大韓民国)



金沢市図書館訪問団 全州市長表敬

提携 2002年(平成14年) 人口 65万人 面積 206km²

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都で、李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門(ブンナムムン)、韓屋村などの歴史遺産や韓紙(ハンジ)、韓(ハン)ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されていることが高く評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、21世紀新産業都市への変貌を図っている。

全州市民に加賀水引細工を紹介「第16回金沢伝統工芸展」に出展

2017年8月8日～13日まで全州市の校洞アートセンターにおいて「第16回金沢伝統工芸展」が開催され、加賀水引細工・加賀友禅作家が描く飾り扇・加賀織などの金沢の伝統工芸品115点を展示しました。この展示会は、2002年の姉妹都市提携後、全州市の(社)韓紙文化振興院との間で毎年相互に双方の都市で開催しているもので、今年で16回目となります。

これにあわせて、鹿間哲・金沢市市民局長を団長に、加賀水引細工作家の津田宏・津田さゆみ夫妻をはじめとする5名の参加団が8月6日～10日の日程で、全州市を訪問し、金沢伝統工芸展の開会式に参加するとともに、金承洙・全州市長を表敬訪問しました。また、展示会では、津田夫妻による加賀水引細工の実演及び体験を行いました。



実演及び体験の様子

金沢市図書館訪問団が、全州市を訪問

2017年8月31日～9月3日の日程で、割田隆之・金沢海みらい図書館長を団長とする金沢市図書館訪問団3名が、全州市を訪問しました。一行は、2015年度に「友好提携交流の展開に関する合意書」を調印した金沢海みらい図書館と全州市立完山図書館との両市図書館相互交流事業の一環として、今年度韓国政府より「本を読む都市」に選定された全州市で開催された読書文化の一大イベントである「2017大韓民国読書大展」に完山図書館側からの招請に応じて参加し、同イベントの主要行事として開催される「日韓図書館関係者国際交流会」において、金沢市図書館の児童サービス施策を発表するとともに、「読書大展」関連行事等の視察を行い、より一層の友好の醸成と相互理解の促進、及び両市図書館サービスの向上を図りました。

全州市図書館訪問団が、金沢市を訪問

2017年7月5日～7月7日の日程で、朴勇子・全州市立完山図書館長を団長とする全州市図書館訪問団3名が来沢しました。一行は、2015年度に「友好提携交流の展開に関する



意見交換会の様子

合意書」を調印した金沢海みらい図書館と全州市立完山図書館との両市図書館相互交流事業の一環として、合意書に基づく両館による人的交流文化交流を進め、友好の促進と両市図書館サービスの向上を図ることを目的として、本市図書館の視察や共同研究テーマに沿った実務研修会を実施するとともに、今後の交流拡大に向けた両市図書館職員による意見交換会等を行いました。

Topics

金沢市議会代表団が全州市を訪問

2017年10月24日～10月27日の日程で、秋島太・金沢市議会副議長を団長とする「金沢市議会代表団」一行8名が、2004年5月に友好交流協定を調印した両市議会での定期相互訪問事業の一環として全州市を訪問しました。一行は滞在中、ビビンバ発祥の地で開催される「全州ビビンバ祭り」に参加するなど、全州市議会とのよりいっそうの友好交流を深めました。

全州市柔道会が来沢し、大会に参加

2017年11月3日～11月6日の日程で、全州市柔道会金沢市訪問団31名(役員・通訳11名、選手20名)が来沢しました。金沢市柔道協会との相互交流事業の一環として来沢したもので、滞在中、一行は合同練習や金沢市少年柔道大会への参加など、柔道を通じた交流を楽しみました。

石川県山岳協会全州市訪問団が全州市を訪問

2017年10月22日～10月25日の日程で、石川県山岳協会全州市訪問団18名が全州市を訪問しました。7月に石川県山岳協会と全州市山岳連盟が日韓交流登山として白山登山をしたところであり、滞在中、一行は全州市山岳連盟との日韓交流登山として智異山に登るなど、登山を通じた交流を楽しみました。

大連【中華人民共和国】



大連工業大学・金沢美術工芸大学交流展 開幕式

提携 2006年(平成18年) **人口** 697万人
面積 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で貿易金融の中心都市。総延長 1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれ風光明媚で活力溢れたファッションとサッカーをイメージした観光戦略都市でもある。
また、従来の船舶・鉄道車両などの工業基地に加え、郊外に位置する「大連金普新区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指した国際都市の建設に邁進している。

大連市人民代表大会常務委員会代表団 来沢

2017年10月25日から27日まで、曲曉飛大連市人民代表大會常務委員會副主任を団長とする大連市人民代表大会常務委員会代表団6名が来沢しました。

滞在中一行は、黒沢和規・金沢市議会議長を表敬訪問して両市議会の友好交流を確認しました。



記念撮影をする
「大連市人民代表大会常務委員会代表団」

作品を贈呈しました。また、大連市技師学院へは教育友好協力締結校である金沢市立工業高校の教員が授業等を視察し、意見交換を行いました。

その他、一行は、大連教育学院や大連大学、小中学校や特別支援学校、現地に進出している日系企業等を視察しました。

大連国際マラソン大会参加でマラソン相互交流

2017年5月13日に開催された「第30回大連国際マラソン大会」に、嶋浦雄峰・文化スポーツ局長を団長とする金沢市選手団4名が5月11日から14日の日程で訪問しました。これは、2016年6月に締結された合意書に基づくスポーツ交流の一環で、昨年到现在に続いて2回目の参加になります。

レースでは、強風という悪条件のなか約2万人が参加しました。男子フルマラソンに出場した一花建選手(金沢マラソン2017・男子4位)は、招待のアフリカ勢以外ではトップの2時間30分42秒(男子15位)でゴールしました。また、女子フルマラソンに出場した畝本紗斗選手(金沢マラソン2016・女子13位)は、3時間19分5秒(女子12位)でゴールしました。両選手とも金沢マラソンをPRしながら走りきり、好成績を収めました。



完走後、金沢マラソングッズを手に金沢マラソンをPRする金沢市選手団

大連工業大学・金沢美術工芸大学交流展

2017年11月23日から12月3日まで、金沢21世紀美術館において、大連工業大学・金沢美術工芸大学交流展が開催されました。会場では、大連工業大学と金沢美術工芸大学の教員83人による計101点の作品が展示され、併せて、大連工業大学や大連市の特色や魅力を紹介するコーナーが設けられ、来場者に大連をPRしました。期間中は17,214人が作品を楽しみました。

また、11月22日には、王秀山大連工業大学副学長を団長とする訪問団が、前田昌彦金沢美術工芸大学学長を表敬訪問し、両大学の友好交流について懇談しました。

海外教育派遣研修のため大連市を訪問

海外での教育事情を視察するため、山田啓之・金沢市教育委員会教育次長を団長に、市内小中学校の教員等からなる「金沢市海外教育派遣研修団」一行8名が、2017年10月7日から11日の日程で大連市を訪問しました。この事業は、国際感覚豊かな人材育成を図ることを目的に金沢市教育委員会が2004年度から毎年実施しており、今回で14回目となります。

滞在中、大連市実験小学校には教育友好校である金沢市立明成小学校の嶋崎和良校長が訪問し、同校児童等の美術

Topics
大連市新市長就任
2018年1月25日より、譚成旭氏が大連市の新市長に就任しました。なお、肖盛峰前市長は、大連市人民代表大会主任へ転任されました。

「かなざわ国際交流まつり2017」開催

北陸最大級の国際交流イベントであるこのまつりは、市民が世界の文化、国際協力活動などに身近にふれあい、親しむことで、国際理解や市民レベルの国際交流を促進するとともに、金沢で暮らす外国人市民と日本人市民が同じ地域社会の一員として相互理解や交流を深めることにつながる機会を提供していくことを目的に開催しています。

25回目の記念開催となる今回は、2017年10月21日（土）、22日（日）に金沢市役所庁舎前広場・金沢21世紀美術館にて開催しました。市内・県内から国際交流関係約50団体が参加し、2日間で約10,000人の方に来場いただきました。

世界の食べ物やスイーツが味わえる「ワールドグルメコーナー」、世界の民芸品や団体の人たちに会える「ワールドバザール&インフォメーションコーナー」には多くの方が訪れ、「ワールドステージ」では世界のダンスや音楽が2日間を通して披露されました。「体験コーナー」では書道や折り紙、民族衣装の試着体験に多くの人が足をとめ、チャレンジしていました。外国人のお兄さん、お姉さんと挑戦できる世界のあそびコーナーやフェイスペインティングにも、子どもたちの列ができていました。

25周年を記念して、開会式でくす玉セレモニーが行われ、会場内デジタルサイネージにて「国際交流まつりの25年のあゆみ」の動画放映、特別ステージにてこれからの国際交流について外国人市民や国際協力に携わるスピーカーが語る「トークショー」が催されました。金沢21世紀美術館会場では、石川中央都市圏の国際交流展示ブースが出展されるとともに、ミニSL乗車体験コーナーや映画上映など参加型アトラクションが実施されました。



開会式セレモニー



国際色豊かな飲食ブース



21世紀美術館敷地を使った姉妹都市PR



民族衣装試着体験

国際交流員による国際理解講座

金沢市には、アメリカ・ベルギー・フランス・中国・韓国
の5名の国際交流員が在籍しており、姉妹都市交流に関する業務に加えて、地域レベルでの国際理解の醸成を図ることを目的として、出身国の言語・料理・季節行事等に関する講座や姉妹都市に関する講座を開催しています。また、金沢市内の小中学校や地域団体への講師派遣も随時行っています。

- ・6月10日（土）「親子で中国の端午節を楽しもう！」（参加親子4組）
- ・6月21日（水）「フランス夏のお祭り『音楽の祭日』を知ろう！」（参加者20名）
- ・8月19日（土）「親子で国際交流 韓国のかき氷（パッピンス）を作ろう！」（参加親子11組）
- ・11月16日（木）「ワールドクッキング教室～フランス～」（参加者18名）
- ・12月9日（土）「ベルギー版クリスマス『シンタクラス祭』を楽しもう！」（参加児童14名）
- ・2月28日（水）「中国のお正月（春節祭）お菓子づくり教室」（参加者14名）
- ・3月6日（火）、13日（火）、20日（火）
「シニアのための金沢観光初級英会話」（受講者16名）



親子で中国の端午節を楽しもう！



親子で国際交流 韓国のかき氷（パッピンス）を作ろう！



ワールドクッキング教室～フランス～



ベルギー版クリスマス『シンタクラス祭』を楽しむ！



森本中学校への派遣



小將町中学校への派遣

国際交流ダイアリー

4～6月

- 4月24日 ジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21 姉妹都市アメリカ・バッファロー市訪問にかかる団員出発挨拶
- 4月27日 青年海外協力隊員2名が帰国挨拶（派遣国エクアドル、エルサルバドル）
- 5月 8日 金沢市議会代表団一行 「八田技師夫妻墓前祭」に参列（台湾・台南市内）
- 5月10日 大連市人民対外友好協会代表団 来訪
- 5月15日 ジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21 姉妹都市アメリカ・バッファロー市訪問にかかる帰国報告
- 5月22日 金沢美術工芸大学 大連工業大学と交流協定を締結
- 6月 1日 金沢市 フランス水泳連盟と2020年東京オリンピック競技大会での水泳フランス代表チームの事前合宿を金沢で行うことを定めた協定を締結
- 6月 2日 韓国・禮山郡月進会訪問団 来訪（百万石まつり祝祭）
- 6月16日 金沢市出身の青年海外協力隊員1名が出発挨拶（派遣国ボツワナ）
- 6月23日 駐日デンマーク王国大使 来訪
- 6月30日 金沢市都市政策局長 フランス・アンギャンレバン市ユネスコ創造都市会議に参加

7～9月

- 7月27日 中国国際貿易促進委員会大連市分会 来訪
- 9月20日 金沢市出身の青年海外協力隊員1名が出発挨拶（派遣国タンザニア）

10～12月

- 10月11日 ガラス造形家ら2名 メディアアートとの作品の共同制作 出発挨拶（派遣都市フランス・アンギャンレバン市）
- 10月19日 石川県山岳協会全州市訪問団が出発挨拶
- 10月26日 金沢市議会代表団一行 全州市議会を訪問
- 11月 3日 韓国・全州市柔道会金沢市訪問団 来訪
- 11月 6日 ブラジル・在クリチバ日本国総領事館総領事 来訪

- 11月 9日 金沢市議会 台中市議会と友好交流協定を締結
- 11月10日 金沢卯辰山工芸工房陶芸専門員 研修出発挨拶（派遣都市韓国・利川市）
- 11月17日 日本青年会議所 グローバルユース国連大使事業に参加した金沢市出身中学生が帰国挨拶
- 12月 6日 蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 12月 9日 台南市議会秘書長一行 来訪
- 12月18日 駐新潟大韓民国総領事館総領事 離任挨拶に来訪
- 12月22日 ガラス造形家ら2名 メディアアートとの作品の共同制作 帰国挨拶（派遣都市フランス・アンギャンレバン市）
- 金沢卯辰山工芸工房陶芸専門員 研修帰国挨拶（派遣都市韓国・利川市）

1～3月

- 1月 4日 金沢市副市長一行 中国・ハルビン市長を訪問
- 1月 5日 金沢市副市長一行 2018東アジア文化都市中国・ハルビン市での開幕式に出席
- 1月 6日 金沢市文化スポーツ局長 2018東アジア文化都市 中国・ハルビン市での寒冷地フォーラムでプレゼンテーション
- 2月 1日 独立行政法人 国際協力機構（JICA）「青年研修事業」により来沢する中南米出身研修員 来訪
- 2月 5日 駐新潟大韓民国総領事館総領事 着任挨拶に来訪
- 2月 9日 駐日アメリカ大使 来訪
- 3月 2日 中国・ハルビン市、韓国・釜山広域市代表団 2018東アジア文化都市 金沢開幕式のため来沢
- 3月 5日 駐ベルギー日本国大使 来訪
- 3月24日 中国・蘇州市伝統工芸団 東アジア文化都市2018金沢オープニングイベント「東アジア 見る・知る・感じる!」に出席

国際交流員の一年

ディアロ・スピーアーズ（アメリカ）



Hello, everyone! (皆さん、こんにちは!) アメリカの国際交流員のディアロ・スピーアーズです。来沢して2年目になりましたが、去年も翻訳・学校訪問はもちろん、国際交流のイベントに取り組み機会が様々ありました。

個人的に、去年のハイライトだったのはデンマーク皇太子ご夫妻が来沢されたことでした。10月にデンマーク皇太子ご夫妻は、日本・デンマーク外交関係樹立150周年を記念して、東京を訪問された後、金沢に来られました。金沢滞在中に金沢21世紀美術館でデンマーク出身のオラファー・エリアソンの作品である「カラー・アクティヴィティ・ハウス」の他、日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念展「日々の生活 - 気づきのしるし」をご覧になりました。私は細田副市長の通訳者として、歓迎レセプションに参加し、皇太子ご夫妻にお会いすることができました。それは私にとって、一生忘れられない貴重な経験となりました。

ベルト・コリン（ベルギー）



Hallo iedereen! ベルギー国際交流員のベルト・コリンです。ベルギー首都のブリュッセルの近くにあるルーヴァン市という学生の町で生まれ育ちました。2017年8月から金沢市国際交流課でウェルナさんの後任者として働き始めてから、ちょうど半年経ったところです。以前、留学生として神戸に一年間住んだ経験はありますが、日本側・北陸は初めてで、伝統と工芸のあふれだす金沢の美しさに感動しました。一番新しい国際交流員として、先輩に様々な魅力を教えてもらって、大変うれしく思っています。

今までの6ヶ月でも、自分にとって新しい挑戦と面白い経験がたくさんあり、金沢の姉妹都市であるゲント市との交流も豊富に行われています。金沢大学の学生をゲント大学に送った一方、ゲント市からの留学生が9月頃に何人か来沢し、金沢を第二の故郷というふう

6月に毎年恒例である百万石まつりの醍醐味を味わうことができました。英語のアナウンスを務めさせていただき、獅子舞や家臣団が行進する姿を楽しく鑑賞しました。一番印象に残っているのは鷹狩の演技です。そして、仕事が終わった後は、プライベートで百万石踊り流しにも参加しました。急遽踊りのグループに入れさせてもらいましたが、踊った経験のなかった私にその場で優しく教えてくれました。大勢の市民の方と盛り上がり、あっという間に2時間が経っていました。

最後になりますが、エフエム石川「PEOPLE & CITY I ♥ KANAZAWA」にも何回か出演させていただきました。母国の文化や祝日を紹介して、まるでDJにでもなったかのように自分が作った曲をラジオで披露することができ、いつも大変楽しみにしていました。

金沢の市民から「テレビで見たよ!」とか「ラジオで聞いたよ!」と言われる度に、国際交流員という仕事を通じて、金沢市のグローバル化に少しでも貢献していることを再確認します。これからもっと有意義な国際交流活動の場で活躍できるよう、そして異文化との架け橋になるように努力したいと思います。

に感じていただくように頑張っています。留学生以外にも、10月にベルギーのあん摩マッサージ指圧師の団体が日本ツアーで金沢を訪問した時に、兼六園や21世紀美術館など、金沢市内の文化施設を案内し楽しく交流しました。また、同月の金沢マラソンにゲント市の選手が3回目の参加に来た時や、12月にベルギーサッカー1部リーグのチームである「KAA Gent」のコーチの方3人が金沢を訪問し、金沢市サッカー協会やツエーゲン金沢等を対象に講習会や指導実践を行ったスポーツ交流があった時も、私が通訳として活躍させていただきました。大変勉強になりました。

私のしていることは、ゲント市と金沢市間のイベントに限りません。国際交流まつりで司会をしたり、子供対象のイベントや学校訪問をしたり、料理講座を行ったりして市民と楽しく深く交流することによって、ベルギーについて知っていただけて非常にありがたいと思っています。これからも、仕事でもプライベートでも交流を深めて金沢滞在を充実していきたいと思っています。よろしくお願ひします!

マチルダ・デュボワ (フランス)



みな 皆さ〜Bonjour! Comment allez-vous? (こんにちは!お元気ですか?) フランス出身の国際交流員のマチルダ・デュボワです。昨年度もフランス関係で様々な活動をさせていただき、大変豊富な一年となりました。

金沢市とフランスの関係についてお話をする前に、皆様がご存知のフランスにおいての大ニュースを改めてご紹介します。それは、2017年の5月のフランス大統領選挙の話です。新党La Republique en Marche (共和国前進)のエマニュエル・マクロン氏がFront National (国民戦線)のマリーヌ・ルペン氏に勝ち、第25代フランス大統領になりました。

さて、金沢市とフランスの関係といたしましては、例年の姉妹都市関係がもちろん盛んでありまして、マラソン選手の受け入れ、クルーズ船の迎え、学校訪問、市民向けの講座の開催、国際交流まつり参加やフランス及びヨーロッパの最大級の日本文化を紹介するフェア、ジャパンエキスポの出展などを通して金沢市民の皆様がフランスに触れる機会がありました。一方、一年を通して、私自身が日本の文化に触れさせて

いただき、金沢についての知識が深まり、フランスの人たちに金沢の良さをもっともっと広めたいと思いました。

なお、新事業で大きく取り上げられるのは、昨年の6月に金沢とフランス水泳連盟の間で調印された協定書に従い、10月にフランス水泳連盟から若手選手団が金沢に来て、10日間に渡って金沢プールで合宿を行いました。初めての世界レベルの選手、普段の代表団と違うスポーツ選手に合った対応をすることになり、色々勉強になり、有意義な経験となりました。

また、皆様がご存知の通り、2018年は金沢とナンシー市の姉妹都市提携の45周年の節目になります。その枠で様々な部門で様々な交流を計画しています。新聞で読まれた方はいらっしゃるかもしれませんが、毎年ナンシー市で行われる大イベント「聖ニコラ祭」に金沢市が招待され、金沢及び日本の文化を紹介します!

ナンシー市と金沢市の45周年の節目が日仏友好関係の160周年でもありますので、フランス好きの皆様はぜひ、一年中開催されるイベントをお楽しみに!

日仏、そしてナンシー市と金沢市の交流の架け橋になりますように今年も頑張りますので、よろしく願いいたします!

ていぎょうてい ちゅうごく 丁曉婷 (中国)



ダージャーハオー みな 大家好! (皆さん、こんにちは!) 中国出身の国際交流員の丁曉婷です。また一年があっという間に経ちました。大人になってから一年が早く過ぎるように感じます。初めて日本を訪れたのはもう10年前の話だと気づいたときに本当に驚きました。最近の個人的なニュースと言えば、北海道で3年間を住んで、雪道に慣れたはずですが、この間の大雪の後に金沢で滑って転びました。今でも雪道を歩くと、ドキドキします。とはいえ雪の兼六園は本当に綺麗ですね!

2017年は市内の小・中学校訪問、市民向け文化講座、パンフレットの翻訳、同行通訳など、前年度と同じ仕事を続けると同時に、新しいことにも挑戦し、実りのある一年でした。5月に中国の大連市で行われる大連国際マラソン大会と12月に蘇州市で行われる蘇州太湖マラソンに派遣団の通訳として参加し、金沢マラソンのPRをしてきました。7月に蘇州市からの中学生親善団を受け入れました。滞在中に兼六園などの金沢名勝

地を視察し、金箔貼り体験を行い、金沢について知るとともに、一泊二日のホームステイを通して、日本の生活も体験できました。若い世代の交流の大切さを強く感じました。私も学生たちの活気を感じながら夏の金沢を楽しめました。10月は金沢国際交流まつりの開催、大連市議会団の受入れ、そして金沢マラソンに参加する各姉妹都市の選手団を迎え、大変忙しい一ヶ月でした。また消防局職員が市内に増える中国人観光客や住民に中国語で対応できることを目的として、消防実務中国語研修を4回にわたって開催し、私が講師を務めました。中国語を教える経験はあまりないので、いろいろ勉強になりました。

プライベートでは久しぶりの登山で、三大霊山の立山に挑戦しました。残りの白山は今年中に登りたいと思います。また沖縄、青森、北海道、シンガポールなどへ旅行し、充実した日々を過ごしています。

今年東アジア文化都市関係のイベントがたくさん予定されています。同じ東アジア文化都市の哈爾濱市、姉妹都市の蘇州市、友好交流都市の大連市とのさらなる交流を楽しみにしています。今年も金沢の皆様とたくさん交流できますように頑張りたいと思います。宜しく願いいたします。



ヨロブン、アンニョンハセヨ！
(皆さん、こんにちは！)

金沢市の国際交流員として活動している韓国出身の林慧娟と申します。時間が経つのはとても速くてもう

金沢生活も2年です。2017年は2016年より活動範囲を広げて金沢の様々な所に行き沢山の方々と出会い、お話を聞かせていただき、また勉強をさせていただきました。また仕事を通してプライベートを通して沢山の経験をし、金沢の事を去年よりもっと知る事になりました。

2017年、金沢市と韓国の姉妹都市である全州市は姉妹都市提携15周年という記念すべき一年を迎えました。そのため普段よりも交流の内容が豊富になり、様々な団体から沢山の人が金沢を訪れたり、またこちらからも全州市を訪れたりして交流し、親睦を深めました。

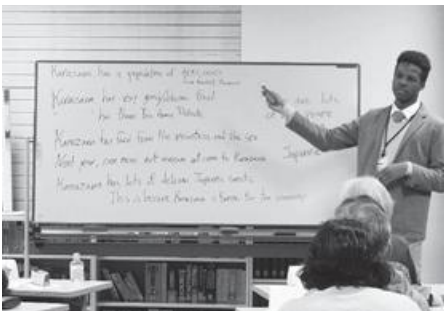
8月には全州市で金沢市の伝統工芸品を展示し、職人さんが全州市の市民に工芸の技を実演する「第16回金沢伝統工芸展」を開催してきました。実演は2日間行わ

れ、事前募集がすぐ終わるほど人気があつたです。展示会には沢山の来館者がいて金沢市と全州市が姉妹都市であることから金沢市に興味を持ち始め、来沢した事があるという全州市民達の声の聞けました。2018年には金沢市の方に全州市の韓紙工芸作家達が訪れ、展示会を開く予定ですが、今回はどのような交流が芽生えるか楽しみです。

9月には全州市で開催される国規模の読書イベントに金沢市の図書館運営事例を紹介する発表者として招請され、派遣団の随行を務めてきました。全国各地から読書を愛する人々と団体が集まるイベントであるだけあって勉強になるところが多く、派遣団も受け入れる全州市の図書館関係者も移動中の車の中でもお互いの取り組みなどについて熱く語り、勉強していたので、通訳の私も情熱に感化され、やり甲斐を感じました。

その他にも姉妹都市提携15周年を迎えてこれからの交流を誓い合う調印書に両市長が署名しあったりする市の公式交流や民間交流等で2017年ほどの年よりも活発な交流ができました。2018年も金沢市の国際交流員として、また両市の架け橋として、有意義な交流の一助になれるよう一生懸命に勤めたいと思います。2018年もよろしくお祈いします！

こく さい こう りゅう いん かつ どう しゃ しん
《 国際交流員の活動写真 》



シニア英会話で講義



KAAヘントのコーチ陣に同行



フランス若手水泳選手に同行



消防局実務中国語研修



第16回金沢伝統工芸展参加団に同行



大雪の東山での除雪体験前に
気合いを入れる国際交流員たち



第44号 (2017年度・平成29年度)

2018年発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069